

地域再生計画評価調書

計画の名称		芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト		事業の名称		芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト	
事業概要 (計画の事業概要から一部抜粋)		本事業は、町田市の中心市街地から徒歩で行くことのできる芹ヶ谷公園を“芸術の杜”をテーマに再整備することで、観光業の振興を図るとともに中心市街地の活性化につなげようとするものである。具体的な施策として、芹ヶ谷公園を美術館ゾーン、アートイベントゾーン、わき水と花の明るいゾーン、さわやかみどりゾーンの四つのゾーンに分けて公園全体を再整備し、公園の魅力向上を図る。					
		他にも、芹ヶ谷公園内には、自然の中で子どもたちが思いきり遊ぶことができる「冒険遊び場」といった既存の施設があり、こうした既存施設とこれから整備する新しい施設等との連携を図る。以上のような整備を行うことで、芹ヶ谷公園全体の集客力向上につなげていく。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値 (計画開始時点)	実績値 (2025年度)	目標値 (2027年度)	備考
●芹ヶ谷公園の年間観光入込客数（人）				514,753	538,898	843,000	
●市内で文化芸術にふれる機会を持つことができた市民の割合（％）				25%	14%	23%	企業版ふるさと納税制度の期間延長に合わせて、2024年度に地域再生計画を延長する際に目標値を再検討の上で変更したため、2025年度の目標値が現状値を下回っています。
取組結果		・ハード面では、「（仮称）町田市立国際工芸美術館」の整備に向け、建築物省エネ法の改正に伴う修正設計を行い、工事公告を行いました。入札参加者から技術者不足を理由に辞退届が提出され、2026年1月に入札中止となりました。また、「（仮称）公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟」についても、整備工事の再積算を行って2025年9月に工事公告を行いました。同様の理由で入札中止となりました。このような入札不調が続いている状況を踏まえ、今後はより実現性の高い事業計画への見直しを進める予定です。 ・ソフト面では、パークミュージアムの将来の姿をみんなで想像・創造し、体験するイベント「Future Park Lab」を季節ごとに開催しました。夜間のライトアップや美術館内でのピアノ演奏イベント、陶器やガラス玉づくり体験などを実施し、自然豊かな公園内で多様な芸術に触れる機会を創出しました。こうした取り組みを通じて、来園者が文化芸術を身近に感じられる空間づくりを進めましたが、年間観光入込客数については目標を下回る結果となっています。			外部評価 ・お祭りなど一部のイベントが開催されなかったことなどもあり、「年間観光入込客数」は目標値を下回っているが、「市内で文化芸術にふれる機会を持つことができた市民の割合」は昨年度よりも上昇しており、順調に進捗している。 ・ハード整備面では入札不調が続き、整備が進まない状況であった。一方で、ソフト面の取り組みである「Future Park Lab」を季節ごとに開催するなど、様々なイベントや体験を通じて自然豊かな公園内で多様な芸術に触れる機会を創出したことで文化芸術に対する市民の関心が向上していることは評価できる。 ・芹ヶ谷公園の魅力を感じてもらえるよう、駅から公園に行くまでの歩道も含めて、季節ごとのエンターテインメントを提供すること、小型モビリティを活用することなどを検討し、幅広い視野を持って、事業に取り組んで欲しい。 ・市からの情報発信を工夫し、多くの人にプロジェクトの状況を分かりやすく説明することが出来れば、市民の理解を得やすくなる。今後も様々な情報伝達手法を検討して欲しい。		
2025年度 寄附件数	2件	2025年度 寄附額	200,000円				